

# としま 区議会だよ

平成31年

第1回  
定例会



No.268

広報編集委員会  
豊島区議会事務局

〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1

☎03(3981)1453 http://www.city.toshima.lg.jp/kuse/gikai/  
FAX03(3981)3975 E-mail A0028903@city.toshima.lg.jp

平成31年(2019年) 4月26日発行

## 平成31年度 予算を可決

平成31年第1回定例会は、2月13日から3月22日までの38日間にわたって開会されました。

今定例会では、平成31年度一般会計予算及び3特別会計予算等について審議が行われ、区長提出議案35件を可決、議員提出議案は1件を可決、7件を否決しました。

陳情は、1件を採択、2件を不採択、新たに3件を閉会中の継続審査としました。



予算特別委員会の様子

**特別区税** 334億2,817万円(22.3%)

特別区民税、軽自動車税、特別区たばこ税、狭小住戸集合住宅税

**地方消費税交付金** 60億400万円(4.0%)

地方消費税の一部が区市町村に交付されるもの

**特別区交付金** 317億円(21.2%)

都区間・区間相互の財源の均衡を図り、特別区の効率的・自主的な運営を確保することを目的として交付されるもの

**国・都支出金** 346億437万円(23.1%)

国や都から交付を受ける負担金・補助金など

**特別区債** 127億9,800万円(8.5%)

施設の建設経費を賄うために国などから借り入れる資金

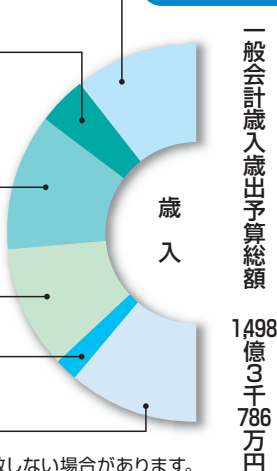
**その他** 313億333万円(20.9%)

地方譲与税、利子割交付金、自動車取得税交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、基金繰入金など

※( )内は、歳入・歳出予算それぞれの構成比。

数値については、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が一致しない場合があります。

### 平成31年度予算



**区民費** 114億8,919万円(7.7%)

戸籍事務、区民事務所運営など

**文化工商費** 214億6,961万円(14.3%)

文化・芸術、商店街・中小企業の振興、図書館の運営など

**環境清掃費** 45億3,006万円(3.0%)

環境保全、廃棄物収集、リサイクル推進など

**福祉費** 301億4,056万円(20.1%)

高齢者・障害者福祉、生活保護など

**衛生費** 43億8,623万円(2.9%)

各種健康対策、保健所の運営など

**子ども家庭費** 279億9,464万円(18.7%)

保育園の運営、児童手当の給付など

**都市整備費** 211億4,186万円(14.1%)

まちづくり、区営・区立住宅の管理運営、道路・公園の整備、自転車対策、緑化推進など

**教育費** 117億7,941万円(7.9%)

幼稚園、小・中学校、子どもスキップの運営など

**その他** 169億631万円(11.3%)

防災対策、区役所の運営、議会費、公債費、予備費など

### 可決した意見書

#### 選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書

夫婦のどちらかが改姓をしなければ婚姻できない現制度では、改姓には煩雑かつ膨大な事務手続きや出費を強いられる。改姓によって同一人物とみなされず、社会的信用・キャリア実績が断絶される場合もあり、戸籍上の姓の使用が必須となる研究者などの仕事面や財産管理で不利益を生じる。法的根拠のない旧姓と戸籍上の姓との使い分け、いわゆる二重氏使いは本人及び管理・事務側での手間とコストの増大を招く。また、必要のない範囲にまで婚姻状態を知らしめる旧姓併記によって、苦痛を感じる人が生じる場合があるなど

様々な問題が起こりうる。よって、豊島区議会は、国会及び政府に対し、選択的夫婦別姓制度の法制化を求める。(衆議院・参議院議長、内閣総理・法務大臣あて)

平成29年度の豊島区議会政務活動費の領収書等を区議会ホームページで公開しました

豊島区議会の各党派に対しては、区議会議員の調査研究その他の活動に資するため、豊島区議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、必要な経費の一部を交付しています。これまで、この経費については、収支報告書をホームページで公開していましたが、この度平成29年度分の全ての領収書等を公開いたしました。

これは、議会改革の取組の中で、平成29年度以降の政務活動費領収書等の公開を決定したことによるものです。

これに先がけ、平成29年5月には区議会議員の費用弁償の日額旅費(3千円)を廃止するなど、着実に議会改革が進んでいます。また、議会改革検討会の報告書も区議会ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。豊島区議会では、引き続き開かれた区議会を目指し、議会改革に取り組んでまいります。

#### 主な掲載内容

- 議案等の審議結果一覧 ..... 2面
- 区政のここが聞きたい ~一般質問(要旨)~ ..... 3~6面
- 常任委員会Q&A / 予算特別委員会 ..... 7~8面

○：可決に賛成 ×：可決に反対

# 議案等の概要と審議結果

番号	件名	概要	自 民 党 豊 島 区 議 員 団	公 明 党	日 本 共 産 党	民 主 ネ ッ ト	都 民 フ ァ ー ス ト の 会 と し ま	刷 新 の 会	無 所 属 元 氣 の 会	虹 と し ま	結 果
第1号議案	豊島区行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例(一部改正)	保育所の利用調整及び保育料の徴収に関する事務において、特定個人情報等を庁内連携することについて所要の改正を行う。	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第2号議案	豊島区手数料条例(一部改正)	戸籍証明手数料の免除規定を改める外、自動交付機の廃止に伴い、規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第3号議案	豊島区公文書等の管理に関する条例	区政の公正性及び透明性を確保するとともに、区が行う様々な活動を現在だけでなく、将来の区民に説明するため、公文書等の適切な管理について定める本条例を制定する外、規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第4号議案	豊島区男女共同参画推進条例(一部改正)	性の多様性を尊重し合い、すべての人がともに生きていける社会の実現を図ること、パートナーシップ制度を創設すること等について所要の改正を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第5号議案	豊島区総合高齢社会対策基金条例	総合的な高齢社会対策の推進を目的とした豊島区総合高齢社会対策基金を設置する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第6号議案	豊島区地域包括支援センターの運営及び職員に係る基準に関する条例(一部改正)	介護保険法施行規則の一部改正に伴い、規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第7号議案	豊島区立介護予防センター条例(一部改正)	豊島区立介護予防センターの事業内容にフレイル対策を加えるとともに、豊島区立東池袋フレイル対策センターを新設する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第8号議案	豊島区立障害者福祉施設条例(一部改正)	豊島区立駒込生活実習所及び豊島区立駒込福祉作業所の位置を変更する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第9号議案	豊島区介護保険条例(一部改正)	地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律による介護保険法の一部改正に基づき低所得者の第1号保険料を軽減強化する外、規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第10号議案	豊島区営住宅条例(一部改正)	豊島区男女共同参画推進条例の一部改正によるパートナーシップ制度の創設に伴い、区営住宅の利用申請者の資格を整備する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第11号議案	豊島区立福祉住宅条例(一部改正)	豊島区男女共同参画推進条例の一部改正によるパートナーシップ制度の創設に伴い、福祉住宅の利用申請者の資格を整備する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第12号議案	豊島区道路占用料等徴収条例(一部改正)	道路法施行令の一部改正に伴い占用物件の区分を改めるとともに、道路の占用料の額を改定する外、規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第13号議案	豊島区立自転車等駐車場条例(一部改正)	豊島区立大塚駅北口第三自転車駐車場の使用料の額を改定する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第14号議案	豊島区立公園条例(一部改正)	公園予定区域等に係る規定を設ける外、豊島区立池袋西口公園の改修に伴い、同公園の開園時間を変更し、有料公園施設を追加する等所要の改正を図るとともに、公園の占用料等の額を改定する。	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第15号議案	豊島区立ふるさと千川ひろば条例(一部改正)	ふるさと千川ひろばの占用料の額を改定する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第16号議案	豊島区立区民の森条例(一部改正)	区民の森の占用料の額を改定する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第17号議案	豊島区立目白庭園条例(一部改正)	目白庭園の占用料の額を改定する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第18号議案	豊島区立児童遊園条例(一部改正)	ひばりがや広場を廃止するとともに、児童遊園の占用料の額を改定する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第19号議案	豊島区児童育成手当条例(一部改正)	所得税法の一部改正等に伴い、規定の整備を図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第20号議案	豊島区立芸術文化劇場開設に伴う初度調弁(第1次)舞台備品の買入れについて	契約方法：希望型指名競争入札 契約金額：7,992万円 契約の相手方：三精テクノロジー株式会社 東京支店	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第21号議案	寺町沿道道路改良工事請負契約について	契約方法：条件付一般競争入札 契約金額：2億4,840万円 契約の相手方：徳力建設工業株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第22号議案	目白銀鈴の坂エレベータ設置工事委託契約の一部の変更について	変更理由：資材調達期間の延長により工期を改める。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第23号議案	池袋大橋アプローチ耐震補強工事請負契約の一部の変更について	変更理由：施工数量変更により契約金額を改める。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第24号議案	建物の買入れ契約の一部の変更について	変更理由：豊島区立芸術文化劇場の施工内容の変更により、建物の買入れに係る床面積及び売買価格を改める。	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第25号議案	豊島区立公園の指定管理者の指定について	豊島区立中池袋公園の指定管理者に一般社団法人 Hareza 池袋エリアマネジメントを指定する。	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第26号議案	都市公園を設置すべき区域の決定について	都市公園を整備するため、都市公園を設置すべき区域を決定する。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第27号議案	平成30年度豊島区一般会計補正予算(第4号)	補正予算額：117億4,122万5,000円 補正後の額：1,388億4,487万2,000円	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第28号議案	平成31年度豊島区一般会計予算	予算額：1,498億3,786万3,000円	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第29号議案	平成31年度豊島区国民健康保険事業会計予算	予算額：304億5,085万2,000円	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第30号議案	平成31年度豊島区後期高齢者医療事業会計予算	予算額：63億709万円	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第31号議案	平成31年度豊島区介護保険事業会計予算	予算額：212億5,568万円	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
第32号議案	平成31年度豊島区一般会計補正予算(第1号)	補正予算額：17億2,503万1,000円 補正後の額：1,515億6,289万4,000円	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第33号議案	豊島区長及び副区長の給料等に関する条例の特例に関する条例	区長及び副区長の給料について特例を定める。	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第34号議案	豊島区国民健康保険条例(一部改正)	特別区国民健康保険事業の調整に関する共通基準の改正に伴い、基礎賦課額、後期高齢者支援金等賦課額及び介護納付金賦課額の保険料率等を改定し、国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、保険料の減額の判定基準及び賦課限度額に関する規定を改める外、規定の整備を図る。	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案第1号	豊島区国民健康保険条例の一部を改正する条例	第3子以降の子及びひとり親世帯の子に係る国民健康保険料の被保険者均等割額を免除し、多子世帯及びひとり親世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援に資する。	×	×	○	×	×	×	×	×	否決
議員提出議案第2号	豊島区学校給食費補助金条例	第3子以降の子に係る給食費を補助し、多子世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援に資する。	×	×	○	×	×	×	×	×	否決
議員提出議案第3号	辺野古新基地建設のための土砂投入の中止を求める意見書	国に対し、辺野古新基地建設のための埋め立て土砂の投入を即時停止すること、米軍普天間飛行場の辺野古移設を断念し、直ちに運用を停止して閉鎖・撤去することを強く要望する。	×	×	○	×	×	×	×	×	否決
議員提出議案第4号	沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求める意見書	国会及び政府に対し、沖縄県民が平和に生きる権利を具体化するため、辺野古新基地建設工事・土砂投入を直ちに中止すること、沖縄県民の民意を踏まえ真摯な話し合いを行なうことについて誠実に対応されるよう強く求める。	×	×	○	×	×	×	×	×	否決
議員提出議案第5号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書	1面をご覧ください。	×	○	○	×	○	○	○	○	可決
議員提出議案第6号	「幼児教育無償化」に関する意見書	国会及び政府に対し、幼児教育無償化に必要な財源については、国の責任において恒久的な支出を行い自治体に過度な負担を強いないこと、地方分権の趣旨に基づき、自治体の意見を尊重し、合意形成のうえで施策を遂行することを強く求める。	×	×	○	×	○	○	○	○	否決
議員提出議案第7号	多文化共生、地域活性化などに配慮した改正入管法の実施等を求める意見書	国会及び政府に対し、多文化共生、地域活性化などに配慮した改正入管法の施行と技能実習制度など現行諸制度の見直しに取り組み、自治体における受け入れ環境整備に対する制度・財政上の支援を行うよう要望する。	×	×	○	×	○	○	○	○	否決
議員提出議案第8号	妊婦加算制度の再検証と妊婦が安心して医療を受けられる制度・環境整備を求める意見書	国会及び政府に対し、妊婦が安心して医療を受けられる体制構築を改めて議論し、妊婦と医療機関双方の良好な関係が築かれるような制度・環境整備を行うことを要望する。	×	×	○	×	○	○	○	○	否決

# 請願・陳情の審議結果

	自 民 党 豊 島 区 議 員 団	公 明 党	日 本 共 産 党	民 主 ネ ッ ト	都 民 フ ァ ー ス ト の 会 と し ま	刷 新 の 会	無 所 属 元 氣 の 会	虹 と し ま	結 果	
28陳情第6号	「羽田空港増便による都心および豊島区上空の飛行ルート計画」を強行しないよう求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に反対	継続審査
28陳情第12号	羽田空港増便計画による航空機の豊島区上空低空飛行ルート計画を強行せず丁寧な説明を行う事を求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に反対	継続審査
30陳情第5号	旧朝日中学校跡地に園庭のある認可保育園建設を求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に賛成	継続審査
30陳情第11号	失語症者向け意思疎通支援者の派遣についての陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に賛成	継続審査
30陳情第16号	豊島区にコミュニティバスを走らせることを求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に賛成	継続審査
31陳情第1号	豊島区にコミュニティバスを早急に走らせることを求める陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に賛成	継続審査
31陳情第2号	選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国に提出することを求める陳情	採択に反対	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択に反対	採択に賛成	採択に賛成	採択に賛成	採択
31陳情第3号	10月の消費税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に反対	不採択に反対	不採択
31陳情第4号	国民健康保険料の負担を軽減するための陳情	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に反対	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択に賛成	不採択
31陳情第5号	豊島区における子育て支援策の抜本的強化についての陳情	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に賛成	継続に賛成	継続に反対	継続に反対	継続に賛成	継続審査
31陳情第6号	豊島区議会における旧自由民主党区議会議員団の政務活動費不正支出の返還に関し内容の明瞭化を求めることについての陳情	継続に賛成と除斥	継続に賛成	継続に賛成	継続に賛成	除斥	継続に反対	継続に反対	継続に賛成	継続審査

# 区政のここが聞きたい

## 第1回定例会一般質問(要旨) 2月19・20日



※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

### 豊島の輝く世界へ 扉を開いてみませんか



自民党豊島区議員  
吉村 辰明

●これからの区政の推進について

問 貯金と借金バランスが5年ぶりに借金超過。今後の財政状況はどうなるのか。また、持続可能な財政運営をどう行うのか。

答 早い段階で貯金と借金のバランスを改善するため、新規発行額を極力抑制し、事業の選択と集中を適切に図り、将来必要な財源を計画的に基金に積む。

問 過去の財政危機は職員の大規模削減の断行で突破できた。これに係る民営化や委託等に要した経費を控除した年間の財政効果は。また、この20年の累計は。

答 29年度単年度での財政効果は、民間委託約19億円、指定管理約3億円、民営化約7億円の計約29億円。この20年では、非常勤職員活用効果も含め累積で約45億円の効果となった。

●文化や産業にかかわる政策について

問 東アジア文化都市開幕式典では芸術劇場のコンサートホールが空席なく埋め尽くされた。区長の評価と当日の警備体制は。

答 これまでの開催都市にない一体感、オールとしまの取組の創出、国際色溢れるステージによる国家イベントという実感の共有で成功を収めることができた。当日の警備は区、警察、消防が連携して対応。危険物等持込抑止のため手荷物検査も実施。

問 中韓2都市主催のイベントに豊島区民の参加が期待されているという話はないか。

答 両都市ともに豊島区民の参加を希望している。3都市で協議しながら対応していく。

問 観光は本格的な少子高齢化・人口減少を迎える中での成長戦略の切り札である。豊島区観光振興プランの概要と特色は。

答 多彩な文化と多様な人々の交流でにぎわう国際文化都市としまに向けた3つの戦略、17の施策。東アジア文化都市、東京オリンピック・パラリンピックに焦点を当てた10のリーディングプロジェクトが特色。

●今後の都市づくりについて

問 大塚駅北口において都電敷には屋根がなく乗換えの際、雨にぬれる。現在の協議状況は。

答 方向性に関して交通局の理解は得ているものと認識。工事を



都電大塚駅前停留場ホーム

費を含めて詳細の協議中である。

問 アフターザシアターが夜の街を活性化。都電の終電時刻延長に関する協議状況は。

答 沿線住民への影響、新たな費用の発生が課題。ニーズの増加を見つつ、引き続き協議する。

●教育について

問 子どものいじめ被害の認識方法は。認識したいじめの分類方法とその解消への対応は。

答 本人の訴え、教職員の観察、アンケート調査等様々な情報ネットワークにて認知。「好意で行った言動」から「暴力を伴う故意のもの」まで6段階に分類。早期発見・対応の取組から関係改善まで切れ目ない指導を行うことで、再発防止の徹底を図る。

問 隣接校選択制を維持しながらコミュニティスクールを導入していくことの問題点は。

答 隣接校選択制の下での課題は、コミュニティスクールを実施する上で整理が必要。モデル校を指定、実施していく中で隣接校選択制のあり方を検討。

問 長寿命化の手法を活用し、学校施設の整備計画を策定すべき。今後のスケジュールは。

答 32年度中を目指して、長寿命化を基本とした計画づくりを行うため検討組織を立ち上げる。



公明党  
辻 薫

薫

薫

薫

薫

薫

薫

薫

薫

薫

薫

薫

薫

薫

### 誰もが健康で活躍できる豊島を目指して!

●「東アジア文化都市2019豊島」について

問 開催の意義と区民にもたらす価値は。

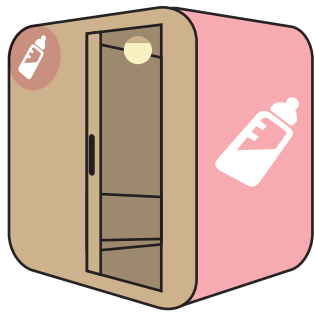
また、ハレザ池袋や4つの公園等も記念事業と位置付け、未来への遺産になると考えている。

●防災・減災対策について

問 災害時における母乳育児の有用性は。

●消費増税10%増税について

問 母乳育児は、災害時に飲料水が不足した場合や哺乳瓶の滅菌が難しい状況において有用。救援センターに授乳室を設置する等、環境整備に努めていく。また、区内の女性を対象に、災害時の母乳育児、女性の視点からの救援センターの運営等を題材にして学習していく。



授乳室のある救援センター

問 フレイル対策センターを核としたフレイル予防の取組を区内各地域に展開し、地域コミュニティの場となるよう要望する。

●住宅宿泊事業法(民泊)施行後の状況について

問 区内の地域別届出状況は。

●児童虐待防止対策について

問 転居によるケース移管や警察との連携についての取組は。

●風疹感染拡大防止対策について

問 今春、原則無料化される予防接種の手順と居住する市区町村以外で検査する場合の体制は。

●消費増税10%増税について

問 消費増税に対して強い批



日本共産党  
森 たくひろ

森

森

森

※地区防災計画…地域コミュニティにおける共助による防災活動の推進の観点から、一定の地区の居住者及び事業者(地区居住者等)が行う自発的な防災活動に関する計画のこと。

※フレイル…加齢に伴い筋力や認知機能などの心身の活力が低下している状態をいう。

判が広がり、各商工団体等も反対している。区長は反対を表明すべき。

公平性の高い税として、持続可能な社会保障の財源にふさわしい。反対する考えはない。

●2019年度予算について

大企業優先の巨額に膨らんだ過去最大の投資的経費をやめ、区民救済策を実行すべき。

区民目線で行政サービスを提供し、明るい未来を牽引する国際アート・カルチャー都市を推進している。

巨額の税金を使う国際アート・カルチャー都市は、いつ、どのように区民に還元されるのか。定住人口を増やし、経済を発展させて、得た税収を区民に還元する。

新ホール、電気バス等は多額の赤字事業だが、将来の区財政に悪影響を及ぼさないのか。

コストと効果については、しっかりと検証確認していきたい。

ハレザ池袋は総額169億円の巨額な大型開発。そのうち新ホール84億円は旧庁舎跡地を民間に貸し付けた費用では足りず、基金37億円を取り崩した。新庁舎、新ホールは税金を使わずに建てるといふ区長の言い分は通用しないことになる。

新庁舎整備と新ホール整備の財源は別と説明してきた。時代の残額を充当することにより、借入することが無くなった。

新ホール整備等の一部を福祉くらしに振り向ければ、安倍暴走政治から区民を守る防波堤の区政になるかがいかがか。

街が大きく変わり、このチャンス逃さずに思い切った施設建設等への最大の集中投資に踏み切った。

●高すぎる国民健康保険料につ

いて

2019年度も、1人あたり3千186円値上げで約12万5千円と限界を超えている。全国知事会等が国に公費負担の増額を求めているがどう考えるか。

低所得者が多い反面、保険料が高い構造的課題を抱え、大変厳しい状況にあると認識している。国が財源を確保し、保険料の軽減が図られる議論が深まることを期待する。

ゼロ歳児にもかかる均等割は、特に多子世帯の負担が重く、子育て対策から逆行している。他自治体にならい減額すべき。

国の責任で制度化されるべき課題であり、区として実施する考えはない。

国保料を払えない世帯に対し、強権的な資格証発行、差し押さえはやめるべき。

滞納世帯に対して、丁寧な相談対応を実施する。

●都立大塚病院を都立のまま存続することについて

都が都立病院の繰入金を削減するために

明るい未来が展望できる豊島区とするために



民主ネット 山口 菊子

に検討し、結論を出したい。

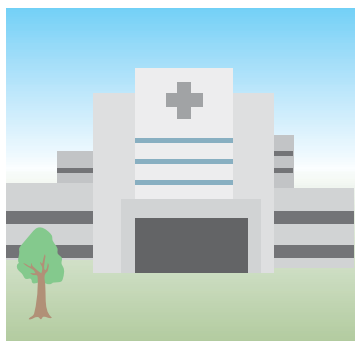
投資的経費の財源確保については、短期的、中期的見通しを慎重に精査すべき。区の見解は、中期的な投資計画と財源見通しに、短期的収支見直しも踏まえ、直近実績に基づいて精査

本区に負担が生じる2020年4月以降の幼児教育無償化の負担額は、年間約3億円と見込む。

幼児教育無償化に伴う保育園の給食費の取扱は、他区

他区の状態を踏まえ、慎重減するために、独立行政法人化を検討している。大塚病院は区民にとって大事な存在であり、都に強く働きかけるべき。

本区に無くてはならない病院であり、経営主体が変更になったとしても、役割を担い続けるように強く要請する。



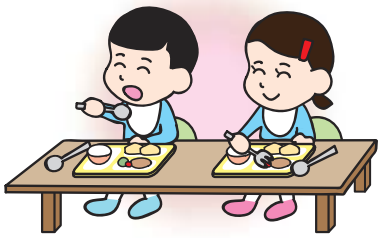
病院

●大塚駅前コミュニティバスを導入することについて

区長がコミバスを進めると決意を述べた。大塚駅前にバス停を設置し、コミバスルートの拠点としてみてはどうか。

今後の検討の際の貴重なご意見として受け止める。課題について1つずつ整理、検討する。

に検討し、結論を出したい。



給食の時間

障害者福祉サービス事業を点検・指導する十分な職員配置の予算が必要と考えるが。

新年度から体制整備に着手し、ノウハウ習得のため都への職員派遣も行う。

重度心身障害者グループホーム整備の現状、早期の建物完成対策、施設の開設時期は、入札不調を受け、再度の入札実施に向け準備を急ぐ。計画通り2020年7月開設を目指す。施設運営事業者を支援する。

福祉を基準としたきめ細かいサービスを行うことにより、区民のみならず豊島区の未来に希望が持てるような区政を展開することを期待するが。

福祉・保健、健康づくり、コミュニティづくり、生涯学習、災害・交通安全対策など、施策を総動員し、総合対策に取り組む。

●職員のあり方について

仕事の内容を鑑みても、現業職場への正規職員の採用が必要と考えるが。

「削減ありき」でない「総合的な定員管理のあり方」について新たな方針を鋭意検討。技能系職員は、当面、退職不補充維持

女性管理職が増えない原因について、検証をしているのか。選考を申し込まなかった女性職員から、その理由を調査。結果を基に、女性管理職を志す職員を増やす努力を続ける。

委託や指定管理などで、職員が区民の方に接する機会が減っている現実を踏まえ、接遇研修の必要性についての見解は、具体的な事例に基づく実践的な接遇研修のプログラムを改善し実施。研修の効果を確認するため、外部の専門家による窓口サービスの評価とレベルアップ

暮らしたに直結する福祉職場職員などのモチベーションを上げる配慮が必要。区長の見解は、

組織全体の意識的な配慮により維持されるので、質問を踏まえ、具体的な配慮や取組を人材育成の一環として改めて検討。

池袋西口公園改修にかかる課題と喫煙場所について

改修後にも、従来の下町のイメージを残せないか。公共の公園としての役割は維持されなければならぬと考えるが。

地元根ざした公園という精神は、変わらぬ。イベントだけに目を向けるのではなく、公共の公園としての役割を担いながら、ニーズに添えていきたい。

路上喫煙を防止するためには喫煙所が必要という考え方は、思い切った転換すべき。

受動喫煙の防止や健康に対する意識の高まりも勘案し、池袋西口から喫煙所をなくす。

袋西口から喫煙所をなくす。●介護現場で働く人へのハラスメントについて

区役所では、ハラスメント防止リーダーである所属長が加害者になった事例は。また、年間のハラスメント事例数は。

今年度現時点の相談件数は16件。うち所属長が行った者は6件。指針の定義に照らし、ハラスメントと認定された事案はない。

介護現場のハラスメントの状況について区の受け止めは。

ハラスメントにつながるが、ねない事例の共有化を進め、区全体の課題として取り組む。

複数での訪問介護に対する補助金を検討する考えは。

他自治体の補助金の実効性について見極めていきたい。



都民ファーストの会としま 河原 弘明

●平成31年度予算について

平成31年度予算編成の視点や狙いは。

東アジア文化都市によるにぎわい創出と「誰もが安心して暮らしていけるまち」の実現が狙い。その際の視点としては、「としま新時代」へ飛躍するため、にぎわい施設の投資事業を短期集中的に行い、相乗効果を生み出す一方で、財源対策を的確に講じ、区民生活を支える事業経費をしっかりと確保する設計としている点である。

平成31年度の新規拡充事業の選択基準は。

「子どもと女性にやさしいまちづくり」「日本の推進力」「高齢になっても元気で住み続けられるまち」「様々な地域との共生」に関連する事業を軸とした

今後のふるさと納税と流出を防ぐための現状PR等の対応が必要と思うかがいかがか。

平成31年度ふるさと納税による減収は10億8千万円を見込む。区財政への影響のわかりやすい周知方法を検討する。

今後の財政運営は。

財政調整基金残高に目標額を定めている。引き続き健全財政に努めながら、将来に向けた施策をバランス良く進め、持続発展都市の実現を目指していく。

(仮称)マンガの聖地としまミュージアム完成後について

トキワ荘関連施設整備基金への寄付金の経過は。

昨年2月17日からスタートし、2月14日現在、724件、2億8千328万8千331円。

**問** 東長崎駅南口の交番がトキワ荘を模すなど地域の協力について、今後の回遊性を含めた具体的な計画は。

**答** トキワ荘交番からトキワ荘まで、さらに南長崎地域に点在するモニュメントやお休み処を巡り、椎名町駅や落合南長崎駅まで、南長崎地域全体を回遊する仕組みの検討を進めていく。

**問** トキワ荘時代の昭和の面影を残す「山政マーケット」や「味楽百貨店」。官民連携を活用し

**大丈夫か？豊島区の財政。未来に負債を残さないために！**

●平成31年度予算案について

**問** 多額の基金を取り崩し多額の起債を発行しながら、多くの事業を同時進行に行う大義は。施策の相乗効果により、まちの魅力高め、地域経済を発展させ、得られた税収を還元することで好循環をもたらす。

**問** 日本経済の失速による税収減の可能性と、それを踏まえた財政計画の見直しについては。

**答** 今後も健全財政の維持と成長に向けた施策を進めていく。

**問** 新豊島公会堂、電気バス事業、池袋西口公園の収支見通しの改善についての検討状況は。

**答** 公会堂は約3億円を指定管

**子どもから高齢者まで、区民を感染症から守るための施策の普及充実を。**

●風疹ワクチンの助成対象制度の拡充について

**問** にぎわいの創出を推進している豊島区だからこそ、子ども

保存することを要望する。  
**答** 建物所有者の考えも伺い、どのような形で活用できるか検討したい。



トキワ荘ゆかりの地散策マップ



刷新の会  
ふるぼう知生

料料として見込んでいます。電気バス事業は運行事業者への補助額を5カ月分で4千350万円と見込んでいます。西口公園の年間収支は約1億千800万円と見込んでいます。収入増や運営の効率化等により収支の改善に努めます。



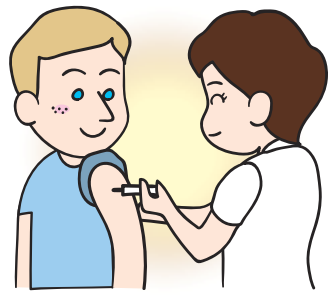
電気バスイメージ



無所属元気の会  
小林 弘明

から高齢者まで、すべての区民の感染症の防止、健康増進のために使うことが区の責務である。風疹の抗体を持たない39〜56歳

男性以外にも、免疫が弱い世代層があるため、他の自治体で先行して行われているように、妊



予防接種を受ける外国人

**日本をリードする自治体、豊島区に誇りを持つ**

●いよいよ始動する「パートナーシップ制度」

**問** 条例提案により、制度を創設しようとする区長の考えは。

**答** 多様な性自認・性的指向の方々は日常生活で様々な困難に直面しており、制度創設で一歩でも前進できるのではないかと考えています。

**問** 区民生活の基礎である「町会」での受け入れは大切。証明書を持つているカップルに自然に「おめでとう」と地域で言える理解促進、啓発が必要。

**答** 区政連絡会など様々な機会を通じパートナーシップ制度を地域に周知し理解を広げていく。



理解広め、地域のみみなでお祝いを

婦の同居者に限らず、希望者は風疹ワクチンを受けられるよう助成制度の拡充が必要。

**問** 国や都の動向を注視しつつ効果的な事業運営を検討する。  
●豊島区独自の投票率向上施策について

**問** 期日前投票所の増設、共通投票所の設置ほか、区独自の選挙啓発・投票率向上については。

**答** ファミリーマート区内全店で15秒の選挙啓発コメント放送。期日前投票所増設も検討中。



虹としま  
石川 大我

**問** 将来届け出は、エポック10のみでなく、婚姻届と同じ総合窓口でもできるようにすべき。

**答** 当事者の声を聞きながら、届け出ししやすい環境を整備していく。

●グローバル時代における豊島の教育

**問** 外国籍の区民が1割を超えた今、多文化共生は区の持続的発展に不可欠。新しい「教育ビジョン2020」では明確に「多文化共生」が位置付けられるのか。

**答** 多言語対応や日本語教室の取組など、新たな教育ビジョンに重点施策としてより充実・発展させる方向で盛り込む。

**問** 部の垣根を越えて、「市民性教育」を系統的に実施していくプログラムを基本計画に盛り込んでいく時機と考えるが。

**答** 今後、研究を進める。

●誰からも愛される豊島区を願って

**問** 多様な人が暮らす未来の豊島区づくりに向け、区長はどのようなビジョンを持つか。

島区づくりに向け、区長はどのようなビジョンを持つか。

**ふるさと豊島、平成その先の未来へ**



自民党豊島区議員  
有里 真穂

●特定整備路線沿道まちづくりについて

**問** 補助26号線の整備は、千川親水公園や児童遊園、ふるさと千川等の既存施設と調和がとれたものにしてほしい。

**答** 地域の強い思いを十分把握しており、沿道まちづくりには、主体性を持って取り組んでいく。

**問** 40年以上経過している、千川第2歩道橋の撤去状況は。

**答** 撤去の設計委託を発注済みで、工事は来年度中に発注する予定と東京都から聞いている。

**問** 補助17号線と26号線整備に伴い、踏切渋滞や事故防止、高架化の検討、緊急車両の通過など、東京都と西武鉄道へ積極的な働きかけを行ってほしい。

**答** 歩行者用の地下道を建設した経緯があり、20年前と変わっていない状況の中で、粘り強く鉄道立体化の要望を継続する。

**問** 東長崎駅北口事業の今後の方針は。

**答** 駅前らしい道路や広場の整備方針、商店街活性化策、地域貢献策等の共同化事業整備の方向性を示す「まちづくりビジョン」の策定に取り組んでいる。

●子育て支援策について

**問** 入園児が減る中で、区立幼稚園のあり方については。

**答** 就学前教育における実践研究の拠点になるために、教育と保育両方の機能を備えた認定こども園に、早期に移行すること

「誰もが主役となれる」まちづくりを推進していく。

が望ましいと考える。  
**問** 幼児教育を支えてきた私立幼稚園への新たな支援策の実施や、各種補助金の増額の考えは。

**答** 交付している教育環境整備費補助金は、使途を限定しない一般補助金で、区の政策が反映しにくい性格をもつため、増額等は慎重に判断すべきである。

●高齢者にやさしい街づくりについて

**問** 高齢者の安心住まいの提供事業や入居支援事業を行っているが、単身高齢者への見守り事業への取組は。

**答** 緊急通報システムや配食サービス、見守り声かけ事業など様々なサービスで、高齢者の孤独防止に向けた取組をしている。

**問** 高齢者の趣味や経験、知識を生かす活躍の場と人材ネットワークについての考えは。

**答** 高齢者の活躍や、スキル習得の機会等見える化するシステムを進めており、これを情報共有し新たなネットワークづくりにつなげていく。



高齢者への声かけ

●歴史や地域文化を次世代になく施策について

歴史的価値を広く知ってもらうための案内文の設置や、また点在する石像物の歴史や文化を、次世代にどうつなぐのか。

区登録・指定文化財等の案内板を設置しているが、急速に

誰もが安心して住み続けられる豊島区Ⅱ



公明党 中島 義春

●災害対策について

ラジオによる災害時の情報発信の検討状況は。

有効なツールと認識しているが、運営主体やスポンサー確保等の課題により進んでいない。引き続き解決策を検討していく。

過去の災害では災害対応に追われ、避難所の生活環境まで気が回らない状況だったが、本区における避難所の環境改善の認識と今後の取組は。

災害時の生活環境は極めて厳しいものと認識。冷暖房の完備等の環境整備や医療関係者による巡回等により、生活環境が改善されるよう努めていく。

●健康対策について

選択的介護の有識者会議でデイサービス送迎途中の下車、立ち寄りサービスの有償提供や事業者が所有する福祉車両の空



デイサービスの送迎

街並みが変わる中で、貴重な歴史的文化資源の保存について研究し、検討していく。

小学校の副読本などで長崎地域の郷土史を伝えてはどうか。

小学校3・4年生の社会科副読本はばたけ豊島で、長崎神社の獅子舞を取り上げている。

●沖縄・辺野古新基地建設、民主主義と地方自治の在り方について

現在、利用者のニーズの調査を実施している。今後は特区提案に向けた準備を進める。

補聴器の公費助成は中等度難聴や軽度難聴では原則対象外だが、今後拡大に向けて検討を

30年度から65歳以上で医師が補聴器の必要性を認め、かつ本人が非課税の方を対象に2万円を上限とする助成を開始。申請の推移等を見ながら、助成のあり方を引き続き検討する。

●就労支援について

高齢者や引きこもり等、様々な課題を抱える方への就労支援の取組や今後の方向性は。

新庁舎移転時に「くらししごと相談支援センター」を設置し、状況に応じた包括的な支援を実施。今後は関係機関等と連携を強化し、体制整備に努める。

●住宅対策について

単身高齢者の割合が多い本区では独自の福祉施策を組み合わせた見守り強化が必要では。

緊急通報システムや配食サービス等を実施。今後は本区ならではの取組を検討していく。

●木造密集地域対策について

上池袋一丁目の不燃領域率は72・5%だが、西側だけを見れば40%未満。町丁目単位で測定する不燃領域率だけではなく、より現場の実態に即した減災対策が必要と考えるが。

平和と区民のくらし、福祉を守る区政に



日本共産党 儀武 肇

●沖縄・辺野古新基地建設、民主主義と地方自治の在り方について

沖縄県民、国民の意思を無視して新基地建設を強行することは憲法の地方自治の本旨に反する。また、県民投票は民意を明らかにする大事な機会と考えるが、区長の認識はどうか。

高度の政治性を有し、地方自治の視点だけで論じられない。地方自治を守る立場から新基地建設反対の表明をすべき。

●介護保険制度について

本人の状況は変わらないのに、要介護2から要支援2に下げられ、サービスが削られ、結果的に重症化した事例を、適切だと認識しているのか。

審査会で適切に判断し、問題は無いと考えている。要介護と要支援の判定は一人一人の実態を見ていない。判定基準や方法を改善すべき。

認定は介護保険法に基づき制度の適正な運営に努める。

要支援から要介護の区分変更するに当たり、利用者に自費負担(10万円)発生の可能性を説明するよう現場に指導していることが、申請そのものを抑制することに繋がる。国に改善を求



修繕された住宅

●大塚・西巣鴨地域のまちづくりについて

折戸通りのバリアフリー化の検討を要望する。

工事をを行う候補路線の一つとして比較検討していく。

●国際都市の街づくり

新たなランドマークの役割を持つハレザ池袋。その機能を最大限に発揮するための運営体制が重要と考える。事業者との役割分担と協働体制は。

区は芸術文化劇場、中池袋公園等を拠点に文化発信、事業者は新ホール棟等で各テナントと協働し多様なイベントを展開予定。これらのにぎわいを同時に一体的に創り出し、相乗効果を発揮できるように取り組む。

●豊かな高齢化社会の推進

環境整備と、住宅改修助成事業の拡充を。

介護保険制度による住宅改修等のほか、区の事業として助成を行ってきた。拡充については、調査・研究を進める。

「アクティブシニア」を活用した就労支援の推進と、仲間づくりに結びつく支援を。

情報提供により、活躍の場の拡大、仲間づくりを支援。

●防災・治安・環境の向上

民間の都市再生に合わせ、池袋のにぎわいや活力と共に、災害に強い安全・安心なまちづくりの推進を。

●都市開発事業に合わせ、公民連携を進めていく。

●大塚駅北口整備事業について

イチョウ並木や緑等の今ある環境をさらに充実・発展させるように整備すべき。

「豊島の未来への展望」9 国際都市への新たな挑戦!



都民ファーストの会としま 星 京子

●国際都市の街づくり

新たなランドマークの役割を持つハレザ池袋。その機能を最大限に発揮するための運営体制が重要と考える。事業者との役割分担と協働体制は。

区は芸術文化劇場、中池袋公園等を拠点に文化発信、事業者は新ホール棟等で各テナントと協働し多様なイベントを展開予定。これらのにぎわいを同時に一体的に創り出し、相乗効果を発揮できるように取り組む。

●豊かな高齢化社会の推進

環境整備と、住宅改修助成事業の拡充を。

介護保険制度による住宅改修等のほか、区の事業として助成を行ってきた。拡充については、調査・研究を進める。

「アクティブシニア」を活用した就労支援の推進と、仲間づくりに結びつく支援を。

情報提供により、活躍の場の拡大、仲間づくりを支援。

●防災・治安・環境の向上

民間の都市再生に合わせ、池袋のにぎわいや活力と共に、災害に強い安全・安心なまちづくりの推進を。

●都市開発事業に合わせ、公民連携を進めていく。



建設中のハレザ池袋

●観光都市「としま」の促進

東アジア文化都市開催につ

# 常任委員会

## Q & A

### 総務委員会

開会日 2月22日(金)・27日(水)  
 案件 議案10件・陳情2件・報告5件等

●豊島区立芸術文化劇場開設に伴う初度調弁(第1次)舞台備品の買入れについて

問 入札金額の開きが大きい。品質の維持は可能か。

答 詳細な仕様書を渡して入札を行っている。仕様書に対応できる業者が入札に応じている。

●平成30年度豊島区一般会計補正予算(第4号)

問 歳入の基となる住民税の納税義務者数の見込は。

答 近年の傾向から年3千人から4千人の増加と推測する。

### 区民厚生委員会

開会日 2月22日(金)・27日(水)・3月6日(水)  
 案件 議案7件・陳情1件・報告11件等

●豊島区立介護予防センター条例(一部改正)

問 旧東池袋豊寿園を活用して設置する、フレイル対策センターで行う事業は。

答 フレイルに関する情報発信や口腔機能、食、栄養等フレイル予防に着目した事業を行う。

問 フレイルから介護に進まないための対策とどうか。

答 フレイルは健康な状態と介護が必要な状態の間。適切に介入することにより、介護にならないよう予防し、健康な状態に戻すための取組を進めていく。

### 都市整備委員会

開会日 2月25日(月)・28日(木)  
 案件 議案11件・陳情1件・報告5件等

●豊島区営住宅条例、豊島区立福祉住宅条例(一部改正)

問 今回の条例改正に係る申込者その他の方との費用の差異は。

答 必要書類としてパートナーシップ届受理証明書があり、その交付に住民票抄本と戸籍謄本が必要となる分費用がかかる。

●豊島区立自転車等駐車場条例(一部改正)

問 大塚駅北口第三自転車駐車場料金改定による利用見込みは。

答 新年度募集で前年比約4倍の応募有。同程度の利用を推定。

### 子ども文教委員会

開会日 2月25日(月)・3月6日(水)  
 案件 議案2件・陳情1件・報告19件等

●豊島区児童育成手当条例(一部改正)

問 控除対象配偶者が同一生計配偶者に文言変更となることで制度内容や、対象人数の変更は。

答 変更はない。

●豊島区における子育て支援策の抜本的強化についての陳情

問 ネウボラ制度とゆりかご・としま事業の違いは。  
 答 どちらも継続的な支援だが、フィンランド本国のネウボラ制度は一人の担当者が継続し担当ゆりかご・としま事業は担当者が変わる点である。

# 予算特別委員会

2月13日の本会議にて、平成31年度一般会計等4会計予算及び一般会計補正予算(第1号)を審査するため、18名の委員からなる予算特別委員会を設置しました。

8日間にわたる質疑を行い、最終日の3月18日には、会派等ごとの意見表明(要旨は8面)後、採決を行った結果、一般会計・国民健康保険事業会計・後期高齢者医療事業会計・介護保険事業会計については、賛成多数で、一般会計補正予算(第1号)については全会一致で原案を可決することとしました。以下、質疑内容等の概要をお知らせします。

### 議会費

●インターネットによる議中継について

問 録画中継の区議会ホームページへの掲載状況は。

答 テロップ等の修正が必要な場合を除き、5営業日後に掲載をするよう進めている。

### 政策経営費

●旧第十中学校跡地活用等事業について

問 計上した予算の内容は。

答 施設整備及び運営事業者の公募要項等作成支援委託経費、事業者審査委員会の委員報酬。

### 総務費

●職員健康管理について

問 健康診断の対象を非常勤や臨時職員に拡大したが、区の委託業務従事者については。

答 委託契約書に労務関係法規遵守を規定、区の社会保険労務士による調査対象にしている。

### 区民費

●催告・納付相談業務の法律事務所委任事業について

問 事業の費用対効果は。また、納付相談はどのように行うのか。

が増え、言葉や生活習慣の違いによりルールが守られていないとの声があったため。

### 都市整備費

●安心住まい提供事業

問 空き室がある原因は。

答 バリアフリーの問題、提供地域に限られる等の理由から断られる方がいる。今後はより良質なストックに努める。

●豊島区無電柱化事業

問 現在の進捗状況は。

答 学習院椿の坂は30年度末で本体工事が終了し、31年度末には無電柱化が完了する予定。巣鴨地蔵通りは4月から工事を開始する予定。4月上旬に説明会の開催を調整している。

### 文化商工費

●オリンピック・パラリンピック気運醸成事業について

問 気運醸成は大変重要、30年度の事業実績は。

答 パラスポーツの体験イベントやわくわくスポーツひろば等6事業で計15日間にわたって、約2千200人が参加した。

### 子ども家庭費

●子ども・若者支援について

問 子どもとおおむね39歳までの若者とその家族を対象とした総合相談窓口「アシスとしま」の現状は。

答 7月に開設し、89名の方から相談を受けている。

### 教育費

●学校施設について

問 学校体育館へのエアコン設置について、現在の状況は。  
 答 リース事業者が決定し、打ち合わせを始めている。設置可

能な時期の調整が済み次第、保護者にもお知らせし、速やかに導入を進める。

### 国民健康保険事業会計

●高齢者の服薬情報提供事業

問 事業内容は。

答 70〜74歳で高齢受給者証を持つ国保の被保険者の方等を対象に多剤服用の方を抽出し服薬情報を知らせ、専門家への相談を促し、健康被害の予防を図る。

### 介護保険事業会計

●中小介護事業者の事業協同化支援事業

問 事業を導入するきっかけは。  
 答 中小事業者の方々の経営課題を伺うなかで都から事業実施の依頼があり、先駆的な横浜市の取組を見学して、事業者のメリットを実感し実施を決定した。

### 選択的介護モデル事業

問 新規サービスの検討状況は。

答 デイサービスの車を活用した外出支援や薬剤師とデイスタッフの連携によるお薬相談、AIを活用したデイ利用者の生活リズムの見える化などを検討中。

### 予算特別委員会委員名簿

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎竹下ひろみ (自民党豊島区議団)
  - 村上 典子 (民主ネット)
  - 石川 大我 (虹としま)
  - 池田 裕一 (自民党豊島区議団)
  - 有里 真穂 (自民党豊島区議団)
  - 清水みちこ (日本共産党)
  - 根岸 光洋 (公明党)
  - 辻 薫 (公明党)
  - 細川 正博 (都民ファーストの会)
  - 磯 一昭 (自民党豊島区議団)
  - 藤本きんじ (民主ネット)
  - 小林ひろみ (日本共産党)
  - 高橋佳代子 (公明党)
  - 木下 広 (公明党)
  - 里中 郁男 (都民ファーストの会)
  - 吉村 辰明 (自民党豊島区議団)
  - 山口 菊子 (民主ネット)
  - 垣内 信行 (日本共産党)

# 平成31年度各会計予算に 対する各会派等の 意見表（要旨）

## 自民党豊島区議団

平成31年度一般会計予算及び3特別会計予算並びに一般会計補正予算第1号に賛成する。

区民要望、当会派要望等への対応状況等の観点から審査し、持続発展都市づくりに向けた、様々な施策を展開する予算と評価する。以下、各款、特別会計に係る主な意見・要望を述べる。

政策経営費では、重要で関心の高い情報へのホームページのアクセシビリティを高めよ。総務費では、入札制度の総合評価方式見直しは丁寧に行うように。福祉費では、高齢者クラブの活性化のための取組の継続等を。また、視覚障害者対応として、シグナルエイドの対象者に向けた普及啓発の努力を。衛生費では、産後ケア事業の利用後の経過観察等に一層努力を。環境清掃費では、公園の全面禁煙化について周知の徹底を。都市整備費では、無電柱化は景観、防災力向上の点からも促進を。文化商工費では、ハレザ池袋一帯が有効に活用されるプログラムの検討を。子ども家庭費では、保育需要は地域、年齢等を細分化し見通すこと。教育費では、新入学の手引の適切な配布を。公債費では、オルタナティブルールを順守し健全な財政運営の堅持を。

特別会計では、認知症対策として住み慣れた地域で介護を受けられるように望む。

## 公明党

平成31年度一般会計予算、3特別会計予算及び一般会計補正予算第1号の可決に賛成する。総括として、豊島の将来にとって必要な投資の伸びと理解するが、貯金と借金のバランスを改善し、不断の見直しで身の丈にあった財政運営を望む。

【政策経営費・総務費】期日前投票所拡大と郵便投票対象条件の緩和。液体ミルク備蓄造幣局地区防災公園の有効活用。

【区民費・福祉費・衛生費】フレイル対策センターの広報。風疹抗体検査と無料ワクチン接種の体制整備。女性健康支援センターの設置。医療ウィッグと胸部補正用具助成の拡充。

【環境清掃費・都市整備費】フードロス削減対策を飲食店へ。空き家等を活用した入居支援。池袋西口まちづくりの合意形成。東長崎駅・椎名町駅周辺、上池袋一丁目木密地域の不燃化推進。谷端川緑地の改修。駐輪場複数月契約拡大と、障がい者減免措置の複数年契約。

【文化商工費・子ども家庭費・教育費】プレミアム付き商品券発行。東京五輪の園児・児童・生徒の観戦は、暑さ・安全対策を。訪問型病児保育の対象年齢拡大。待機児童対策と保育の質確保。児童虐待対策強化。学校体育館エアコン設置の前倒しを要望。

「19年度一般会計及び3特別会計予算に反対する。」

## 日本共産党

第一に深刻な区民生活を直視し、暮らし、福祉、教育など区民需要が最優先の予算になつていない。待機児童ゼロというが、隠れ待機児童は20人になる見込み。認可保育園の園庭確保と保育士の配置基準、待遇改善は進んでいない。低所得者への制度は後退。住まいに困窮する高齢者への対応が不十分、障がい者施設も民間まかせで進まない。

第二に自治体本来の役割を投げ捨て、区民を追い出し、大企業と来街者のための予算。旧庁舎跡地の新ホールには84億円、池袋西口公園は約30億円と事業費が増え続けている。池袋保健所は2回移転する計画で、跡地は売却する。来街者のための観光目的の電気バスは進めるが、コミュニティバスは実施しない。住民追い出しの道路は進める。

第三に今後の財政運営に過大な影響をあたえかねない。東アジア文化都市記念事業だけでも5年間の投資は32億円で、その維持管理費は年間10億円増。

第四に職員の残業や学校開放指導員の突然の委託提案など区政のゆがみ、ひずみが出ている。保険料を値上げする国民健康保険と後期高齢者医療、高い保険料が必要なサービスが受けられない介護保険に反対。

平成31年度一般会計予算、3特別会計予算、一般会計補正予算（第1号）のすべてに賛成の立場で意見を述べる。

## 民主ネット

31年度予算は約千55億円で過去最大規模となり、投資的経費は前年より90%伸びて403億7千万円計上されたが、福祉や教育に影響を及ぼす不安もなく、財政調整基金の取り崩しをせずに予算編成ができ、貯金と借金のバランスもまずまずの結果となり、評価する。学校改築など老朽化した様々な施設の更新を迎えるため、各種基金は必要で財政計画はしっかりと行うこと。歳入面では不合理な税制の改善に向けて国に働きかけるべき。選挙管理委員報酬は日額とすべき。高齢者対策のどこが目玉プロジェクトなのかかわかりにくい。医療的ケアが必要な人への支援が始まるが、障害者差別解消法を活かす重要な施策である。路上生活者施策は路上から脱出できる支援策を講じるべき。羽田空港強化にかかる課題には、オープンな教室型説明会を開催するべき。プラスチックごみの海洋汚染は、時期を逃さず取り組むべき。子どもスキップは施設に大きな格差があり改善を要望。区職員である幼稚園教諭の増員を。介護人材の育成は大変大事。中小の介護事業者の事業協同化が実現できるよう強く要望する。

平成31年度一般会計予算、3特別会計予算、平成31年度一般会計補正予算（第1号）に賛成の立場から意見を述べる。

## 都民ファーストの会とこま

都民ファーストの観点、情報が公開が十分か、賢い支出がなされているか、持続可能性があるかという4つの観点を持ち審議。過去最大規模の予算は、区の未来に必要な投資を行うためのもとの確認。必要な事業経費は確保しつつ、財政調整基金を取り崩さずに編成した点を高く評価。

以下、款別に意見を述べる。総務費では、業務継続計画は重要項目を満たし改定を。青パトの巡回、自動通話録音機の無料貸出等で特殊詐欺の抑制を。衛生費では、骨髄ドナー支援制度の周知を。都市整備費では、土砂災害警戒区域・特別警戒区域に該当見込みの駒込東公園への対応を。文化商工費では、東アジア文化都市の賑わいを実感できるように、オールとしまで取組を。ソメイヨシノ発祥の地のPR強化を。子ども家庭費では、園庭のない保育園からの家庭や体育館の使用希望への対応を。教育費では、業務見直しやWEB会議導入等で教職員の働き方改革を。長期休職時のバックアップ体制を。

3特別会計について、都と連携した選択的介護事業をより進めるため、事業者数の拡充、ケアマネへの制度理解向上等を要望。

「虹としま」石川大我は、2019年度一般会計予算、3特別会計予算、一般会計補正予算に賛成の立場で意見を述べる。

## 虹としま

款別の主な意見は、▼区役所の障がい者雇用は、多様な障がいを持つ方々がいることに配慮し、障害特性に合わせた働きやすい職場づくりを▼受動喫煙対策は、区施設における全面禁煙をさらに進めよ▼民泊は、申請条件である7日前までの20m範囲での周知文の配布実施をしつかり見守り、区民の不安に丁寧な対応を▼自然エネルギーの区施設への導入をさらに進めよ。自然エネルギー活用により、都市と地方の持続可能な地域づくりに貢献を▼2020年春オープンの造幣局地区防災公園は、隣接する東京国際大学との防災連携強化を。桜や四季の草花が楽しめる、区民にとって憩いの場となる公園になるよう求める

▼学校におけるパリティ、男女同数のさらなる推進を▼学校の多目的トイレは普段施設されているものが散見される。普段から使える状況にすべき▼商店街のインバウンドやダイバーシティ施策には、メニューの多言語話化支援だけでなく、キャッシュレス決済の導入も支援を。

本予算が「多様性を尊重し、すべての人に優しい豊島区の将来」へとつながるよう期待する。

次回の定例会は、6月19日(水)から開催する予定です。